

平成26年度「人権フォーラム（放課後子ども教室）事業」取組の概要

市町村名	学校名等
檀原市	檀原市立鴨公小学校

1 基本コンセプト

鴨公小学校では、同和教育補充学級での取組を継承しながら地域と連携し、『たけのこ学級』を実施している。一人一人が深くつながることを目指し、様々な活動をとおして、地域のことや身近な人権の問題などを学習する。小学校の6年間を見すえたねらいをもち、6年間の継続した活動として進めている。

2 特徴的な取組の概要

< 5年生の主な活動 >

- ・絵本「君の家にも牛がいる」を読み聞かせ、自分の周りにある「牛」について考える
- ・様々な肉の部位を試食し、牛の体について調べ(インターネット)、学年発表する
- ・牛から精肉までの過程について考える(絵本、DVD)
- ・食肉に関わる人々の思いを知り、解体の順番を図に整理する
- ・飛騨の歴史の学習(皮革産業との関係、水牛釘、靴づくり、革釘)を通して、革釘をあむ

○成果と課題

食肉処理業務に携わる人の仕事を学習し、実際に自分がその仕事を出来るかを真剣に考えることが出来た。その仕事をしてきた方のお話を聴いて、命に関わる仕事について深く考えることが出来た。また、地域の産業を学び、実際の革にふれたことでより身近に感じる事が出来た。



< 6年生の主な活動 >

- ・「ローザ・パークス物語」を通して、差別とは何かを考える
- ・戦争と差別の関わりを考える(下原 隆資さんの聞き取り、「わたしが子どもだったころ」【張本勲】、「ヒトラー」のDVD視聴)
- ・地域の歴史や文化に学ぶ
- ・「3月3日の風」のDVD(水平社誕生物語)を視聴し、水平社宣言について考える
- ・水平社博物館見学、フィールドワーク(西光寺・闘争の碑・燕神社・山田孝野次郎の碑など)
- ・これまで学習してきたことをもとに自分の生き方を考える(清原さんのお話DVD)

○成果と課題

差別は、周りの間違っただけの考え方によって起こるということを知ることができた。さらに、その間違っただけの考え方をなくし、すべての人にとって「よき日」が来るために立ち上がった人びとの行動を知ることを通して、差別をなくすために自分に何が出来るかを考え、在校生に伝えた。

